社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和06年11月05日

計画の名称	白岩運動公園整備事業（防災・安全）【重点】														
計画の期間	令和０２年度　～　令和０５年度　(4年間)											重点配分対象の該当	○		
交付対象	武雄市														
計画の目標	白岩運動公園は、地域防災計画で救助・救命活動への支援を行う警察・消防・自衛隊の部隊の展開、宿営等の拠点として位置付けられている。 令和元年８月に発災した水害時においても自衛隊の展開拠点として活用されたが、公園内にある体育館は老朽化が進むとともに耐震性能が確保されていないため、震災時の災害対応のために施設の整備が急務である。 あわせて公園内の再整備を行い、駐車スペースや緑地スペースを充実させ地域防災拠点施設としての機能充実を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	2,277	A	2,277	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%		

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（Ｒ２当初）		（Ｒ５末）
1	・災害時の避難可能人数の増加　：０人（Ｒ２当初）→５００人（Ｒ５末）に増加			
	災害時の避難可能人数	0人	人	500人
2	・災害時救助・救命活動支援車両駐車可能台数の増加　：５８台（Ｒ２当初）→２７０台（Ｒ５末）に増加			
	災害時救助・救命活動支援車両駐車可能台数	58台	台	270台

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○

武雄市国土強靭化地域計画に基づき実施される要素事業：A12-001、A12-002。令和3年度より重点計画へ移行。

案件番号：　0000611120

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	都市公園	一般	武雄市	直接	武雄市	－	－	都市公園事業（白岩運動公園）	体育館、駐車場、園路 4.0ha	武雄市	■	■	■	■		408	9.9	－
	A12-002	公園	一般	武雄市	直接	武雄市	－	－	都市公園事業（白岩運動公園）（５か年防公）	災害時に地域防災拠点となる防災公園整備　A=4.0ha	武雄市	■	■	■	■		1,869	9.9	－
											小計						2,277		
											合計						2,277		

案件番号：　0000611120

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 武雄市まちづくり課都市政策課で評価を実施	事後評価の実施時期 令和６年１１月 公表の方法 武雄市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本事業の実施により、武雄市地域防災計画へ災害時の各施設の役割を位置づけ、実際に防災訓練を実施することにより、市民の防災意識の向上へも寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き、防災訓練の実施等により市民の防災意識の向上に努め、災害が発生または発生する恐れがあるときには、武雄市地域防災計画に則り、防災公園としての活用を図る。	

案件番号： 0000611120

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	避難可能人数		
	最　終 目標値	500人	
	最　終 実績値	500人	
2	救助・救命活動支援車両駐車可能台数		
	最　終 目標値	270台	
	最　終 実績値	270台	